

アクモスグループの新鮮情報をお伝えるIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

2027年6月期

グループ売上高100億円を目指して

特集

アクモスグループ
中期経営計画2027 (2024/07-2027/06)

アクモスジャンクション

- 株式会社プライムシステムデザインがアクモスグループに加わりました
- 人を育てる「アクモス株式会社 新入社員育成 プロジェクト型実習」

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2024

Vol.21

トップメッセージ

代表取締役会長 兼 CEO
飯島 秀幸代表取締役社長 兼 COO
清川 明宏2027年6月期
グループ売上高100億円を目指して2024年6月期のご報告
中期経営計画Ⅲ最終年度の数値目標を概ね達成

当社グループは、2016年に長期ビジョン2025を制定し、3年ごとに中期経営計画を策定して取り組んでまいりました。2023年6月期からは中期経営計画Ⅲ（2022/07～2025/06）（以下、「中期経営計画Ⅲ」という。）に基づく施策、

計画を進めてまいりましたが、2024年6月期は、ITソリューション事業でメーカーの戦略パートナー認定に伴う業容拡大等により売上が伸長し、ITインフラ事業もクラウド化及びセキュリティ強化の需要をとらえて堅調に推移したことから、おかげさまで、中期経営計画Ⅲの最終年度の数値目標を概ね達成（売上高98%、利益項目90%以上）することができました。これにより、中

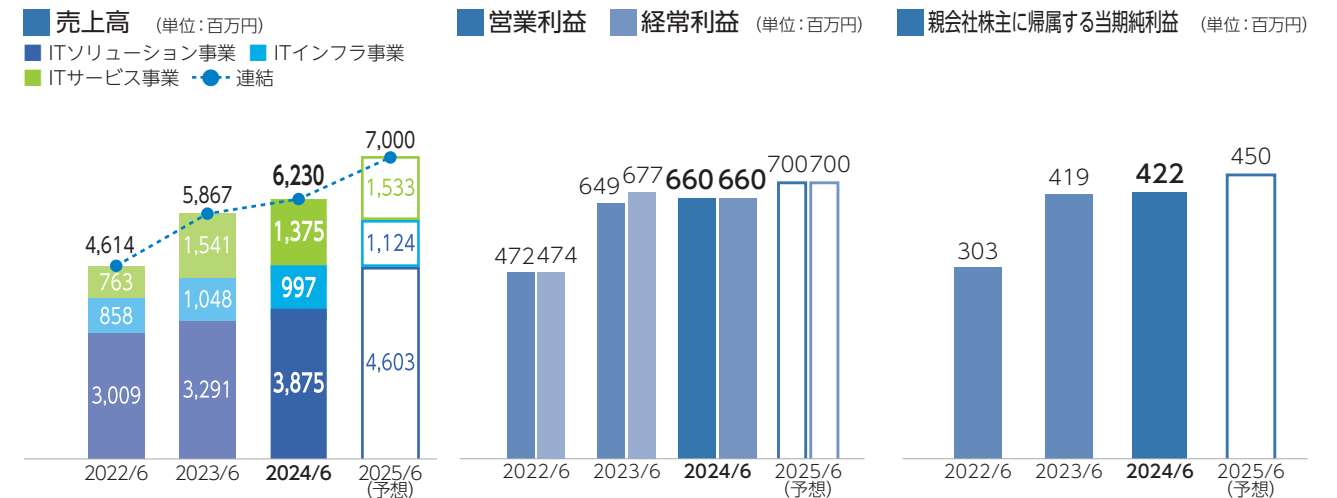
期経営計画Ⅲ、長期ビジョン2025を1年前倒しで終了することといたしました。

	2024年6月期 実績	2025年6月期 中計Ⅲ3年目目標	達成率
売上高	6,230百万円	6,300百万円	98.8%
営業利益	660百万円	710百万円	93.0%
経常利益	660百万円	700百万円	94.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	422百万円	460百万円	91.9%

中期経営計画Ⅲの主な取り組みとしては、事業投資を推進し、人財及び設備への投資促進と首都圏でのM&Aを進めてまいりました。当社単体では、エンジニア職の新卒採用社員に対して1年間の研修期間を設けているほか、職位に応じた研修を実施し、人財育成に注力いたしました。

また、消防防災ソリューション事業の拡大にあわせて茨城県東海村の自社敷地内に消防防災システムの開発拠点として建設していた新棟が完成し、本年4月より業務を開始しております。M&Aでは、2022年6月に獲得し、中期経営計画Ⅲのスタートから損益が連結対象となったITサービスの第三者保守サービス事業会社が業績に貢献いたしました。また、2024年1月に獲得したITソリューションSI・ソフトウェア開発事業会社（※）も、2024年6月期第4四半期より損益が連結対象となっております。

※2024年1月11日付で株式を取得し、連結子会社化した株式会社プライムシステムデザイン。11ページで詳しくご説明しています。



※2022年6月期の各セグメントの売上高は、変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

トップメッセージ

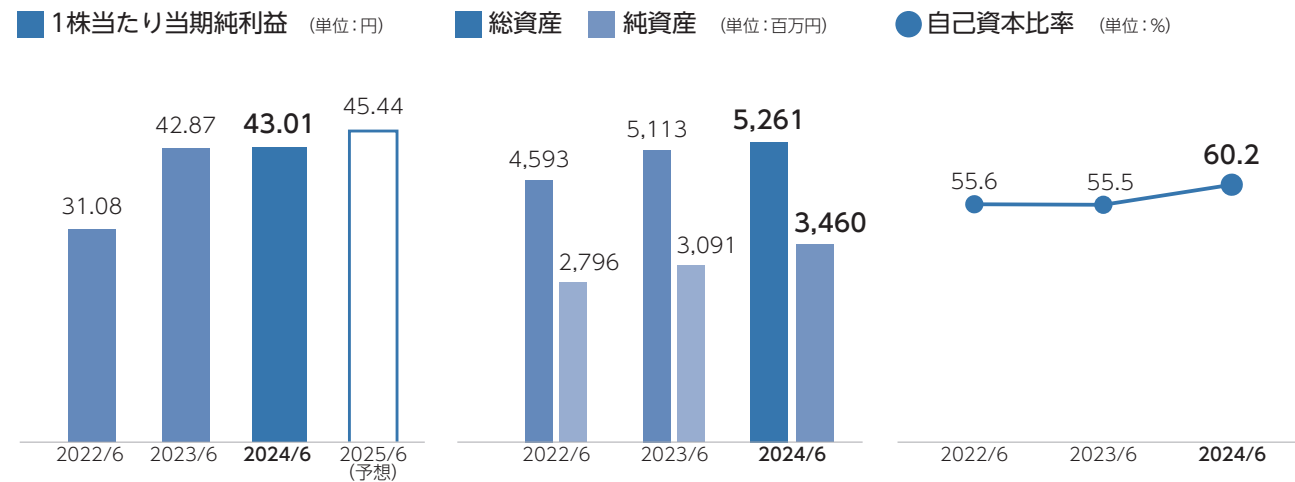


アコモス茨城開発センター敷地内に建設した「消防防災棟」



以上の結果、2024年6月期の連結業績は、売上高6,230百万円（前期比6.2%増）、営業利益は660百万円（前期比1.6%増）、経常利益は660百万円（前期比2.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は422百万円（前期比0.8%増）

となりました。経営指標として掲げた営業利益率は10.6%（前期11.1%）、株主資本利益率（ROE）は14.1%（前期15.6%）となりました。



※自己資本比率=自己資本（純資産-新株予約権-非支配株主持分）/総資産

中期経営計画2027の策定
グループ売上高100億円を目指して

新たな中期経営計画を策定するにあたり、まず「3年後のグループ売上高100億円」という目標を掲げ、それを達成するためにグループ各社でどれだけの数値目標そして施策が必要かというところから検討を開始いたしました。中期経営計画2027（2024/07～2027/06）（以下、「中期経営計画2027」という。）では、Business（事業）×Members（人財）×Value（付加価値）3つの分野での挑戦を拡大し、2027年6月期のグループ売上高100億円を目指してまいります。当社グループが3年後に売上高100億円を達成するには、3年間の売上高平均成長率を直近の約10%から、15%以上に引き上げる必要があります。そのため、成長分野へ事業投資・人財投資を行い、シナジーの見込める技術や専門性の獲得など事業を拡大するべくM&Aを推進することにより、連結売上高目標を達成していきたいと考えております。

また、中期経営計画2027では、資本コストや株価を意識した経営の実現にむけた方針として、人財投資を中心とした事業投資を促進し、中期経営計画2027の業績目標達成にむけた取り組みを推進していくことで、3年間の平均ROE15%以上を目指すことを掲げました。事業投資を促

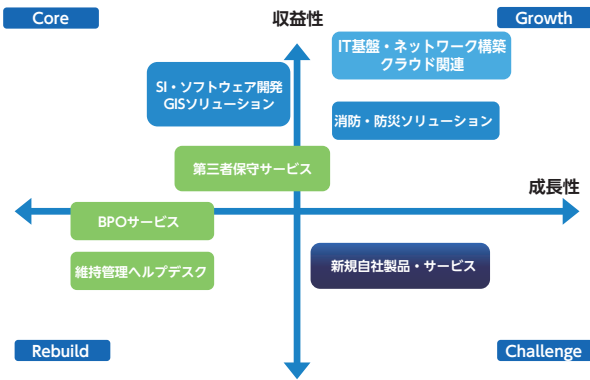
進しますので、単年度でみるとROE15%以上の達成は容易ではありませんが、収益性及び資産効率の向上、並びに成長投資や株主さまへの還元の実現に努めることで、ROE15%以上の安定的な達成を目指してまいります。なお、現在、当社の株主資本コストは3%台～5%台で推移、ROEは12%台～17%台で推移していることから、当社のROEの水準は市場の求める株主資本コストを十分に超えていると認識しております。

※中期経営計画2027については、7、8ページで詳しくご説明しています。

2025年6月期の展望
事業投資を推進し、採用を強化

2025年6月期については、事業戦略ポートフォリオにおけるGrowth（成長）領域事業、首都圏地区でのITソリューション、ITインフラ分野のM&Aへの投資を推進するとともに、現在526名である常時雇用者数が2025年6月期末に595名以上となることを目指して採用を強化してまいります。

トップメッセージ



中期経営計画2027 事業ポートフォリオ

2025年6月期の連結業績は、売上高7,000百万円(前期比12.4%増)、営業利益700百万円(前期比6.0%増)、経常利益700百万円(前期比6.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円(前期比6.4%増)を予想しております。経営指標につきましては、M&Aによる借入の影響を考慮して経常利益を重視し、経常利益率10.0%を目指してまいります。また、中期経営計画2027の目標達成にむけて事業投資を増やす関係から、株主資本利益率(ROE)は13.7%を見込んでおりますが、15%以上を目指して進んでまいります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では、2024年6月期より、目標とする配当性向を連結の親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上から50%以上に変更いたしました。この配当方針に基づき、2024年6月期の期末配当は1株当たり24円(配当性向55.8%)とさせていただきます。

中期経営計画2027期間においては累進配当を導入し、2025年6月期の期末配当は1株当たり25円(配当性向55.0%)を予定しております。当社はこれからも、挑戦する心をもってさらなる進化を目指してまいります。株主のみなさまには、引き続きご理解とご支援を賜りますよう深くお願い申し上げます。

目標配当性向

連結の親会社株主に
帰属する
当期純利益比

50%以上

累進配当

中期経営計画2027の3か年は
累進配当を実施

事業セグメント別の概況と展望

ITソリューション



SI・ソフトウェア開発
消防防災ソリューション
GISソリューション

概況 ITソリューション事業は、メーカーの戦略パートナー認定に伴う業容拡大、GISソリューションにおける公共系での需要をとらえた受注獲得により、売上が伸長。消防通信指令システムは、2つの消防本部で本稼働となりました。

展望 消防・防災事業の全国展開を進めるとともに、地方公共団体向けソリューションなどクラウドを活用したサービスを拡充し、収益基盤の強化を推進してまいります。

	2023年6月期	2024年6月期
売上高	3,291百万円	3,875百万円
営業利益	288百万円	421百万円

ITインフラ



IT基盤・ネットワーク構築
クラウド関連サービス

概況 ITインフラ事業は、地方自治体におけるネットワーク構築・運用案件、研究期間の機器更新案件など、クラウド化およびセキュリティ強化の需要をとらえて着実に受注しました。

展望 首都圏を中心にネットワーク事業の成長を図り、大型案件対応にむけた体制強化を進めてまいります。

	2023年6月期	2024年6月期
売上高	1,048百万円	997百万円
営業利益	257百万円	181百万円

ITサービス



第三者保守サービス
病院情報システム維持管理
サーベイ・アンケート
ビジネスプロセスアウト
ソーシング

概況 ITサービス事業は、事業全般において前期比減。第三者保守サービスでは、システム販売・修理で半導体不況や為替変動等による影響を受け、需要回復が遅れました。

展望 サービス提供体制を整備するとともにサービスの認知度アップを図り、顧客の獲得を推進してまいります。

	2023年6月期	2024年6月期
売上高	1,541百万円	1,375百万円
営業利益	146百万円	102百万円

中期経営計画2027では、グループ売上高100億円達成を目指し、資本コストと株価を意識した経営を推進してまいります。

2027年6月期 グループ売上高100億円を達成する

- Business（事業）× Members（人財）× Value（付加価値）3つの分野での挑戦を拡大し、2027年6月期のグループ売上高100億円を目指す
- 中期経営計画2027の3年間の平均ROEを15%以上、2027年6月期末の時価総額100億円を目標に資本コストと株価を意識した経営を推進する

持続可能な社会の進歩・発展に貢献

社会的な価値

私たちは、
輝くICTサービスで
社会の向上に貢献します

経済的な価値

高収益はすべての
ステークホルダーに
満足してもらえる源

アクモスグループ理念

社是（信条）、
企業理念（存在意義）
アクモスフィロソフィー
（考え方、価値観、行動規範）

ウィングシステム

少人数の採算管理制度により、
KPI最大化と
リーダー人財育成を図る

2027年6月期経営目標

売上高 **100**億円

経常利益 **10**億円

経常利益率 **10**%以上

中計3年間のROE平均値

株主資本利益率（ROE）
15%以上

基本方針

Challenging Mind

社是「挑戦する心」をもって、
事業の拡大と高付加価値化を
実現し、新たな顧客を創造する

Good Business 事業の拡大と高付加価値化の実現

Growth（成長投資）領域

消防防災事業の全国展開およびネットワーク事業の首都圏、他地域での展開拡大

Core（維持伸長）領域

高収益事業へのシフト等、事業の伸長を実現し収益基盤を強化

Rebuild（改善）領域

外部環境に左右されない事業の確立を目指し、収益性、成長性を改善する

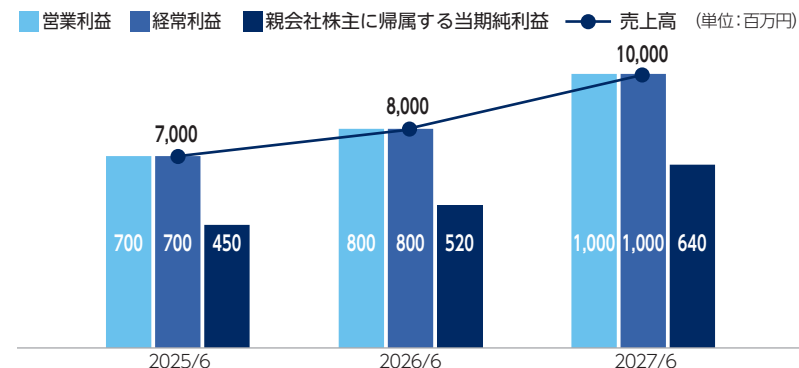
Good Members 挑戦する心を育む

- ・事業戦略と連動した社員の自律的な成長と挑戦の支援
- ・社員の物心両面の豊かさやWell-beingを支える組織・働く環境の整備

Good Value 売上高は年平均成長率15%以上、100億円を達成

- ・利益を事業成長への投資や株主様、社員への還元につなげる価値の循環を目指す

経営目標



	中期経営計画2027		
	2025年6月期	2026年6月期	2027年6月期
株主資本利益率(ROE)	13.7%	14.7%	16.6%
経常利益率	10.0%	10.0%	10.0%
1株当たり配当金	25円	26円	32円

資本政策

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針

- ・人財投資を中心とした事業投資を促進して中期経営計画2027の業績目標の達成に向けた取り組みを推進し、中期経営計画2027の3年間の平均ROE15%以上を目指す

利益還元方針

- ・親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上
- ・成長投資を推進しつつ、株主還元を充実させるため、中期経営計画2027の3年間は、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う、累進配当を適用

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	第32期 2023年6月30日	第33期 2024年6月30日
資産の部		
流動資産	4,446,541	4,418,125
固定資産	667,056	843,123
有形固定資産	248,054	286,615
無形固定資産	79,352	242,910
投資その他の資産	339,649	313,598
資産合計	5,113,598	5,261,249
負債の部		
流動負債	1,609,792	1,430,355
固定負債	412,381	370,428
負債合計	2,022,174	1,800,784
純資産の部		
株主資本	2,836,728	3,162,942
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,196,258	1,219,291
利益剰余金	991,586	1,287,205
自己株式	△44,367	△36,804
その他の包括利益累計額	△56	2,188
非支配株主持分	254,752	295,334
純資産合計	3,091,423	3,460,465
負債純資産合計	5,113,598	5,261,249

Point 1	資産の部
	資産は、前期末に比べ147百万円増加しています。
	流動資産の減少の主な理由は、受取手形及び売掛金の増加40百万円、前払費用の増加34百万円の方、現金及び預金の減少82百万円があったことによるものです。
	固定資産の増加の主な理由は、のれんの増加額187百万円、建物及び構築物の増加66百万円、建設仮勘定の減少24百万円、敷金及び保証金の減少31百万円、繰延税金資産の減少25百万円があったことによるものです。

Point 2	負債の部
	負債は、前期末に比べ221百万円減少しています。
	流動負債の減少の主な理由は、買掛金の増加17百万円、未払費用の減少30百万円、未払法人税等の減少76百万円、アフターコスト引当金の減少20百万円、前受金の減少92百万円があったことによるものです。
Point 3	純資産の部
	純資産は、前期末に比べ369百万円増加しています。
	資本剰余金の増加23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益422百万円、非支配株主持分の増加40百万円、配当金の支払い127百万円、株式報酬付与による自己株式の処分7百万円があったことによるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	第32期 (自 2022年7月 1日 至 2023年6月30日)	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,867,497	6,230,020
売上原価	3,603,006	3,995,901
売上総利益	2,264,491	2,234,119
販売費及び一般管理費	1,614,656	1,573,772
営業利益	649,834	660,347
営業外収益	36,511	6,979
営業外費用	8,660	6,875
経常利益	677,685	660,451
特別利益	848	167
特別損失	29,164	8,550
税金等調整前当期純利益	649,369	652,068
法人税等	209,678	207,605
当期純利益	439,690	444,463
非支配株主に帰属する当期純利益	20,227	21,572
親会社株主に帰属する当期純利益	419,463	422,890

Point	連結損益計算書
	ITソリューション事業がメーカーの戦略パートナー認定に伴う業容拡大、GISソリューションにおける公共系での需要をとらえた受注獲得により売上が伸長したこと、当期よりITソリューション事業に株式会社プライムシステムデザインが加わったこと等により、売上高は6,230百万円(前期比6.2％増)、営業利益は660百万円(前期比1.6％増)、経常利益は660百万円(前期比2.5％減)、親会社株主に帰属する当期純利益は422百万円(前期比0.8％増)となりました。

■ 連結包括利益計算書

(単位：千円)		
科 目	第32期 (自 2022年7月 1日 至 2023年6月30日)	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	439,690	444,463
その他の包括利益	194	2,245
包括利益	439,884	446,708
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	419,657	425,135
非支配株主に係る包括利益	20,227	21,572

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	第32期 (自 2022年7月 1日 至 2023年6月30日)	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,699	347,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 118,312	△ 230,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 212,177	△ 199,713
現金及び現金同等物の増減額	296,210	△ 82,266
現金及び現金同等物の期首残高	2,720,572	3,016,782
現金及び現金同等物の期末残高	3,016,782	2,934,516

Point	連結キャッシュ・フロー計算書
	(営業活動によるキャッシュ・フロー) 法人税等の支払額276百万円、売上債権の増加62百万円があった一方、税金等調整前当期純利益652百万円、非資金項目である減価償却費54百万円があったことによるものです。 (投資活動によるキャッシュ・フロー) 有形固定資産の取得による支出101百万円、子会社株式の取得による支出154百万円、敷金及び保証金の回収による収入35百万円によるものです。 (財務活動によるキャッシュ・フロー) 長期借入金の返済による支出65百万円、配当金の支払額126百万円があったことによるものです。

株式会社プライムシステムデザインが アクモスグループに加わりました

2024年1月11日付で株式会社プライムシステムデザインを連結子会社化しました。

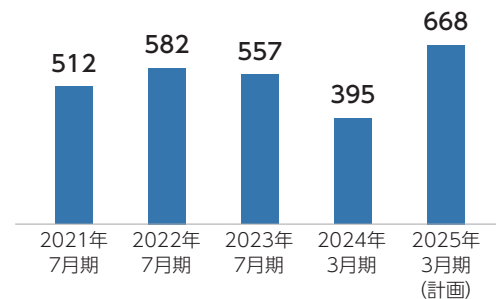
株式会社プライムシステムデザインは、1998年創業以来、業務システム・ソフトウェアの受託開発事業やシステムエンジニアリングサービス（SES）事業を営んでおります。受託開発では、主にメーカーの業務系システム開発を手掛け、企画提案などの上流工程から、開発、リリースまでの一括受託が可能です。また、SESでは、IoT関連やベンチャー企業のシステム開発に従事しています。これらの事業を通じ、長年にわたり、さまざまな業界のお客様にソリューションを提供してきました。

今後はアクモスグループにおいて、首都圏地区のSI・ソフトウェア開発事業分野におけるシステムエンジニアリングサービスの事業拡張など、お互いにシナジーを発揮することにより、ITソリューション事業の成長を図っていきます。



中央が株式会社プライムシステムデザイン 市原社長
アクモス株式会社は左から、深作副社長、飯島会長、清川社長、西山取締役

株式会社プライムシステムデザイン 売上高推移（単位：百万円）



※2024年3月期より、決算期を7月から3月に変更しているため、2024年3月期は8ヶ月分の業績となっております。

株式会社プライムシステムデザイン

所在地：東京都中野区中央2-22-13 フジビル1 4階

代表者：代表取締役社長 市原 雅之

事業内容：システム受託開発、クラウドサービスの開発および販売、システムエンジニアリングサービス

資本金：3,000万円



アクモス株式会社 新入社員育成 プロジェクト型実習 「たの弁」開発導入プロジェクト

アクモス株式会社では、エンジニア職の新入社員研修を1年間にわたり実施しています。研修の集大成として行うプロジェクト型実習では、社内バックオフィス部門を“お客様”として業務支援システムを開発しており、2024年は、お弁当注文システム「たの弁」の開発導入を行いました。

導入前の課題

- ・総務担当が各階の注文票と集金袋を回収し、注文メニューと支払金額をまとめていた。
- ・注文の記入ミス、支払金額が合わない等の問題がたびたび発生。
- ・問題発生の際に社員に確認し、締切時間までに解決しなければならなかった。

導入した結果

- ・注文票が自動で作成され、支払は給与天引きとなった。
- ・総務担当が行う作業は“システムで作成された注文票をFAXで送信”という1作業に。



「たの弁」システム画面

「たの弁」が導入されて（総務担当コメント）

「たの弁」の導入により注文業務の時間が大幅に削減され、煩雑だったチェック作業もなくなりストレス削減にもつながりました。

毎年、システム作成の過程で新人たちと打合せをしていますが、新人たちの一生懸命に取り組む姿に、毎回「素晴らしい！」と言葉がでてしまうほど感動しています。今後の活躍を楽しみにしています。

新人たちを指導して（教育担当コメント）

新人たちは、それまでの研修で仕事のしかたを学び、技術も身につけてきましたが、お客様対応は初めての経験だったため、戸惑うこともありました。

しかしながら、チームで「挑戦⇒失敗⇒ふりかえり」を繰り返していくなかで、徐々にシステムを開発するにあたって大切な「お客様目線」が明確になり、最終的にはお客様に寄り添ったシステムを開発することができました。また、限られた期間内の納品、そしてお金を扱うことにより高い品質が求められ、通常の研修では味わえない緊張感のなかで作業したことも成長につながったと思います。

チームとして最後までやりきった成功体験と、お客様からいただいた感謝の言葉を胸に、今後も挑戦を続けてほしいです。



開発に取り組む新人たち



人財開発室 教育部メンバー

株主アンケート結果報告

2023年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

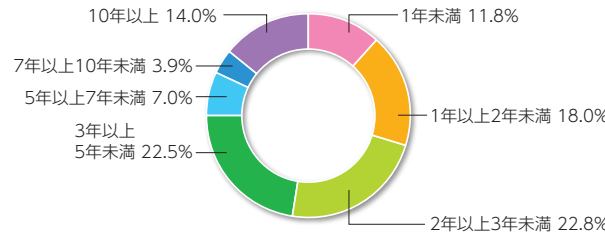
アンケート実施概要

実施期間：2023年9月28日～2023年10月31日

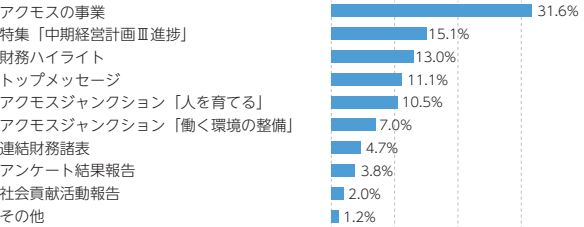
調査対象：2023年6月30日現在、100株（1単元）以上を保有する株主さま 6,325名

回答者数：366名（回答率5.8%）

Q1 ▶▶▶ 当社の株式の保有期間



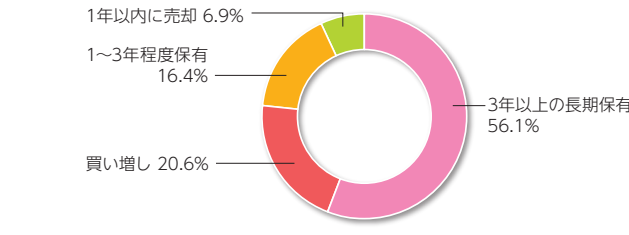
Q3 ▶▶▶ 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください（複数回答可）



社会貢献活動報告

アクモスでは、2023年度から始まった「茨城県デジタル・シティズンシップ教育推進事業」への協賛を行っています。本事業は、将来の茨城を担うIT人材の育成に向け、子供たちに実践的な教育を行うことを目的としたもので、参加校の生徒のみなさんが学校や地域が抱える身近な課題についてデジタル技術（アプリ開発や既存のアプリ等）を活用して解決を図っていく取り組みです。当社はこれからも、地域社会の発展に貢献できるよう努めていきます。

Q2 ▶▶▶ 今後の当社株式の保有についての方針をお聞かせください



株主さまからのご意見

・売上、営業利益を上げ、会社の発展を期待しています。まず会社名を知ってもらってから頑張ってください。(50代女性)

・基本は一步一步着実に歩んでほしい。しかし、勝負の時は決断して、企業を大きくしてほしい。(60代男性)

・社員のコミュニケーション力を高め、挑戦と進化を目指してください。応援します。(70代男性)



茨城県庁で行われた「茨城県デジタル・シティズンシップ教育推進事業 感謝状贈呈式」にて。右は茨城県教育委員会 前教育長 森作様。

会社概要 / 株式の状況

■ 会社の概況（2024年6月30日現在）

商号	アクモス株式会社
設立	1991年8月23日
資本金	6億9,325万円
社員数	連結456名、単体285名
主な事業	・ITソリューション SI・ソフトウェア開発 消防防災ソリューション GISソリューション ・ITインフラ IT基盤・ネットワーク構築 クラウド関連サービス ・ITサービス 第三者保守サービス 病院情報システム維持管理 サーベイ・アンケート ビジネスプロセス アウトソーシング

■ 役員の状況（2024年9月26日現在）

代表取締役会長 兼 CEO	飯 島 秀 幸
代表取締役社長 兼 COO	清 川 明 宏
取締役副社長 兼 CTO	深 作 耕 一
社外取締役	小 竹 由 紀
社外取締役（常勤監査等委員）	西 山 達 男
社外取締役（監査等委員）	板 垣 雄 士
社外取締役（監査等委員）	松 尾 恭 志
取締役（監査等委員）	金 子 登志雄

※第33回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

■ 主な事業所

本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8F TEL：03-5539-8800
茨城本部	〒310-0015 茨城県水戸市宮町一丁目2番4号 マイムビル10F TEL：029-291-3410
茨城開発センター	〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7 TEL：029-270-5555
つくばオフィス	〒300-0847 茨城県土浦市卸町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F TEL：029-834-3391

■ 株式の状況（2024年6月30日現在）

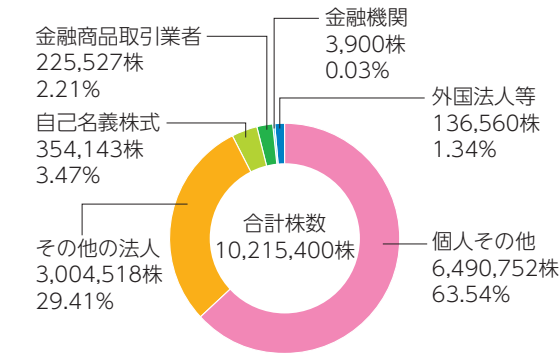
発行可能株式総数	32,300,000 株
発行済株式総数	10,215,400 株
議決権を有する株主数	6,899 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	2,470,000
光通信株式会社	443,500
アクモスグループ社員持株会	342,737
飯島秀幸	325,900
金子 登志雄	96,000
丸田 稔	79,900
JPモルガン証券株式会社	72,500
外池 栄一郎	71,000
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	65,124
岡田 主税	65,000

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 https://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html (電子公告により行うことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先※	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話：0120-232-711(通話料無料) 郵送先： 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。



本社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門一丁目21番19号
東急虎ノ門ビル8F
TEL：03-5539-8800
FAX：03-5539-8332

..... お問い合わせ先

アクモス株式を保有されている口座がある証券会社 または

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**

9:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した用紙、インク
を採用しています。



証券コード：6888



アクモス 株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8F
TEL：03-5539-8800 FAX：03-5539-8332 <https://www.acmos.co.jp/>

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画部
制作 宝印刷株式会社